



6月30日 第6回同窓会総会開催

—「50周年の式典を終えて」—

同窓会会長 新川 勝二



弦巻中学校は昨年11月21日、記念すべき創立50周年を祝う会の式典、祝賀会が教育委員会、我が校歴代校長及び教育関係者、地域の方々等多数の出席者で盛大に開かれ、50年の歴史、伝統を感じ、懐かしい当時の先生方の顔が思い出され、まことに感慨深いものがありました。同窓会からの記念品として、かまどベンチ5脚が贈られました。普段は生徒たちにベンチとして使い、腰掛け部分はずせば、災害時にはかまどとして使えるというものです。学校にも喜ばれております。

「母校というのは、かつて学生生活をともにした者同士が、心の故郷として懐かしむところ」という言葉がありますが、巣立っていった生徒数も、12,500名をこえるまでになり、同窓会も発足してから、15年経過しました。今度の総会も6回目を迎えることができました。これまで長年にわたり、同窓会運営・維持のため校庭での弦中フェスタの開催、ポロ市で讃岐うどんの販売など、地域に根ざした活動に尽力していただいた役員のみなさんには改めて感謝の気持ちを表させていただきます。

記念講演で野村万作先生の狂言三代親子の絆という題のお話の中で、「子供たちに礼儀作法やルールを身につけさせる必要がある」とか、山月記の「何かをなすには人生は、あまりに短い」という話には、共鳴いたしました。

一人一人が違う生き方の中で、中学時代をともに過ごし、皆と同じ思い出、他の人と違う自分だけの思い出を大切に、人生の節々で若かった中学生時代の楽しかったことを改めて思い出してみるのも楽しいことではないでしょうか。

同窓会も、学校・地域と連携して、弦中の教育環境の充実・発展を願ひこれからも努力を重ねていきたいと願っています。

橋本由愛子校長と北村康子副校長のお二人に、新川同窓会会長と後藤副会長、近田副会長が、弦中の現在の様子についてお話を伺いました。2時間以上にわたる懇談でしたが、その一部を掲載します。平成19年3月20日校長室にて

卒業式

新川 昨日（3月19日）は、卒業式にお招き頂きありがとうございました。171名の盛大な卒業式でした。感激しました。男の子も泣いていましたね。

校長 昨日は第51回の卒業証書授与式でした。厳粛な中に子供達が感動する卒業証書授与式を行うことができました。地域の方々に見守られて、子供達のあのような姿を見て頂いて良かったなと思いました。壇上にいる時から涙が流れて、2時間ちょっとの時間でしたが、どのくらい涙を流したのでしょうか。子供達の顔を見るとたまらないですよ。



橋本校長



新川会長

同窓会活動

新川 同窓会発足当時、世田谷区には32校の中学校がありました。同窓会の活動をきちんとした形でやっているのは、東深沢中学校と弦中しかなかった。そのうち東深沢中学校は活動を中断して、今やっているのは弦中だけです。そういう意味では、役員の方々はよくやってくれた。同窓会を平成3年に立ち上げて、16年がたちました。

後藤 同窓会が続いてきた大きな理由に、学校の応援があったということがあります。卒業生といっても、年齢が上は65歳から下は15歳ぐらまでおられるわけで、この年代の広さをどうゆうふうに維持していったらいいのか、なかなか難しく、大学に入る、社会人になる。そうすると、どうしても仕事を中心になります。同窓会の仕事でもやってみようかなと思うのは50近くになってからで、回遊魚みたいに古巣に戻ってくるのに、相当の時間的経過があり、そこを組織として維持して行くにはどうしたらいいのか、役員は悩んできました。たまたま、一部の方が、ボランティア的意識を持って頑ばってやってきているというのが現状で

す。

新川 若い人を入れながら組織の新陳代謝をはかっていくことが求められるんだが、なかなか難しい。

校長 16年の維持は並大抵でない。同窓会は重要な組織。もし、同窓会がなかったら、どうか？！同窓会組織があるという認識が大切。無かったら縦の繋がり、心の拠り所がない。弦中を卒業してよかったなと思える場、組織があることは凄いいことです。

充実した学校生活

副校長 着任当時、近隣の方々に校長先生とご挨拶に行った時に、「娘や息子が卒業してお世話になりました。」と言う言葉を多く聞きました。フリーマーケットやボロ市に参加して、子供達の健やかな成長を地域が見守っているということを感じました。学校が地域に育まれていることは素晴らしいことだと感じました。

後藤 弦中に学んだ3年間が充実していればいるほど、学校に戻ってくる率が高いわけです。我々1期生も先生達と一緒に学校を作ってきたという思いがありますので、弦中が自分達の『ふるさと』だと思っています。学校の3年間がいかに充実していたか、その充実の結晶が、同窓会を長続きさせてきた原動力だと思います。



北村副校長



後藤副会長

校長 先日、3年生の保護者に茶話会を行って頂いた時に、保護者の方が皆さん涙ながらに、挨拶されたんですが、「私（保護者）は公立学校の弦中に子供を入学させて3年間過ごすことができ、本当に幸せでした。」本当に心の底から言ってくれるんですよ、何人も。本当に嬉しくなりました。子供達は、面接試験の練習で本当に弦中が好きだと言ってくれる。面接官の役で、あなたの学校はどんな学校ですかと聞くと、「とっても楽しい学校です。」「地域の方が支えてくれる学校です。」「先生と生徒が一体となって作り上げていく学校です。」等、答える。生徒が日常生活全般の中で充実感をもってくれている。

副校長 学校評価で、学校生活が楽しいが約80%です。年々高まっています。それを実感して、この1年間本当に良かったと思いました。教職員も生徒と共に学校生活を楽しんでいます。学校が安定しています。

校長 フリーマーケットの参加教職員も増えました。19名が参加しています。とっても嬉しいのは、職員室の話題は、子供の話題が多いこととそれに伴う笑いが絶えないことです。教職員の話題の中心が子供であることが大切です。また、小学校の保護者がおみえになって、こんなに子供達が真剣になって勉強しているんですか。落ち着いてますね。誰も立ち歩いている人はいませんねと言われます。ゆっくり見てください、子供の表情もいいでしょう、と話をするんです。

区総合体育大会優勝

校長 これは平成18年度の夏季大会で公立中学校31校と国立私立の中学校23校、合わせて54校で優勝した総合体育大会優勝旗です。これはなかなか頂けない物なんです。私学はスポーツ推薦でおる子供達が全国から来ていますから、どのスポーツもすごい強いですよ。総合的に取れるものでは、なかなかないんです。11種目でうちはどの部をとってもすごいです。都大会、関東大会へ行ってますからね。バスケ男女、テニス男女、野球、卓球、水泳、柔道、サッカー等。本校はスポーツやボランティア活動のすごい活発な学校だけど、勉強だけしてくれればいいという保護者がすごく多い。中学校は、心も体も健康に成長させるわけですからスポーツでも、勉強でもなんでもいいから頑張るという意欲があれば伸びていくわけです。そのあたりを理解して貰うのが大変です。

新川 卒業式の祝辞の中で言ったけど、時間の管理ができる生徒でないと成長していかない。時間の管理ができると言うことは、スポーツもできる、勉強も出来るというわけ。



女性管理職

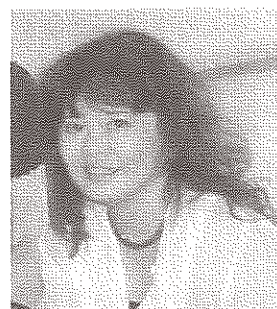
近田 弦中始まって以来、校長先生と副校長先生が女性となり、学校のフリーマーケット等への接し方が変わった様に思われます。

校長 18年度、東京都で公立中学校637校の中で、校長、副校長が女性というのは3校だけです。中学校教育発足60年になりますが、校長、副校長が女性というのは今年度が初めてです。珍しいです。小学校ではありませんが。

近田 学校が前よりもやわらかい感じになった。もし学校に色があるなら、暖かい色が出てきたかなという感じです。職員室に笑いが絶えないと言われたことは、ときどきお伺いする時に感じられました。最近、職員室おもしろいんだよということを、先生方からも伺ったことがあります。

校長 男女の差はないと教育長から言われました。その中で女性同士の良さというのもまたあります。私が一番大事にしてきたのは、人の和ということです。学校運営の中で、学校という組織体の中で一番大事なのは、人の和と思っています。二年間これに全力を注ぎました。教職員と子供との和。教職員と校長、副校長との和。学年間の和。同窓会と学校との和。それぞれの組織の和というものを大事にしながら進めて行くことによって、これらがすべて子供達の成長に結びついていきます。

近田 本日は有難うございました。先生方にはこれからも素敵な「ふるさと」の基盤作りをお願い致します。



近田副会長

弦巻中の思い出

保健体育科 山田 道雄

昭和36年3月の半ばになっても、未だ就職先も決まらないうちの私へ、世田谷区の教育委員会に来るよう連絡がありました。

世田谷区役所へ行ってみると、担当の先生が、弦巻中へ出張とのことで、弦巻中までの地図を書いてもらい、それを頼りに尋ねて行ったのが、弦巻中への第一歩でした。

区教委の先生との会話の途中、そういえばこの学校も、来年度保健体育科を一人採用予定だそうだが、ということで、急遽校長先生と体育科の先生に会うことになり、初めてお会いしたのは、奥山吾一第二代の校長先生と、浜田総一郎先生でした。

実は、翌日大田区の中学校に面接に行く予定だったので、正直にその話をすると、浜田先生が、相手校の教頭先生と親しいので、電話で断っておくということで、弦

巻中への奉職がトントン拍子で決まりました。

新採当初、浜田先生から次のような事を教わりました。自分の専門のスポーツ（実は私は大学四年間卓球部）は、年をとってからも出来るので、若い内は色々な運動をやっておくのが自分の為にも良い事だよと。

陸上競技も先生のアドバイスのお陰です。3年後の東京オリンピックの正式競技役員として参加できたのは、私の誇りのひとつです。

また、連合陸上の初の総合優勝とその後の連覇の礎にかかわった事が、十年間弦巻中でお世話になった中で一番印象に残っています。

古希を迎えた今は、孫と犬の相手の毎日ですが、年に何回かは、卒業生達と一緒に酒を飲み、旅行をし、テニスをしたりと、楽しい一時を過ごしていただけるのをこの上なく幸せに思っています。

12期同期会

12期 蜷川 澄夫

平成18年7月1日土曜日午後3時から、我々12期は、三軒茶屋のキャロットタワー26階スカイキャロットで同期会を開催しました。二次会も合わせると50名の仲間が集まりました。松原新一先生、樋下田恒雄先生、片倉弘雄先生、柳田淳一先生、山田道雄先生の5名の先生にも出席していただきました。立食形式で料理も少なめに注文したのですが、みなひさしぶりに会ったことから、互いに会話に夢中で料理もだいぶ残っていました。

我々の期は、4年毎に同期会を開催することにしており、今回の期の幹事を選出して、一次会をおひらきとしました。引き続き、近くの居酒屋坐・和民に会場を移し、二次会を開催しました。一次会から抜ける人も少なく、柳田先生と山田先生にも残っていただき盛況でした。12期のみなさん、次回の同期会にはふるって出席してください。次の南アフリカで開催されるワールドカップの年です。

16期クラス会

16期 福島 茂人

平成18年6月12日5時天候曇り、雨が降りそうだけど予定通りに他クラス有志をも巻き込んだ弦巻中学3年D組のクラス会は総勢25名でクラスメートが営む駒込の「寿司高橋」でスタートしました。

男性と女性ほどよく混ざり会った談笑は雰囲気の良いもので、始まって数分もしないうちに会場内のデシベルは急上昇した。なんとなく男性の方が若々しく感じたのは私だけだろうか？

そんな事より70歳を超えた秀島純子先生の若さはいったい何だろう。ふと弦中に転勤で赴任して来られた先生の36年前の自己紹介文の一節を思い出しながら、先生の生き生きとしたスピーチを聞いていると、我々が太刀打ちできない先生のセンスが光っていた。

そしてクラス会も大詰めを迎えた時、会社の同僚や家族に話せない事も話題に上がり、ついには50歳を超

えて子づくり宣言するクラスメートまで現れた。がむしゃらに働いてきたのだろう。そんな彼を氣遣って、みんなが今後の彼に声援を送っていた。これがクラス会の醍醐味だ！



わが弦巻中学校は昭和30年に開校されて以来、平成17年に50周年を迎え、11月12日(土曜日)に体育館で盛大な創立記念式典が挙行されました。

当日は天候にも恵まれ、歴代の校長先生、旧・現の先生方、区長を始め行政関係者、世田谷区内の小中学校校長先生やPTA関係者、近隣商店会それに弦和会、同窓会関係者、保護者など約200名の方々が参列され、さしもの体育館も目一杯の状況でした。

式典は午前9時30分に始まり、橋本由愛子(ゆめこ)校長先生の50年の歴史を刻んで来た方々に対する感謝と将来に向け更なる飛躍を誓った式辞、区長・教育関係者の祝辞、この50周年記念行事委員会委員長の重責を担った新川勝二同窓会会長の挨拶など式典は厳かな流れの中にも温かい雰囲気溢れ、滞りなく祝事が進行して行きました。

長らく現世相慣れした私にとって新鮮な驚きは、予想以上に生徒全体が規律正しく教育されていて、橋本校長先生の「心に響き合う人間教育」が成就している様子を目の当たりにしたことでした。

もともとこうした公式行事は形どおりの盛り上がりがない退屈なものが多いのですが、弦中の50周年記念式典だけは違っていました。祝壇に立たれた方々の言葉に真実味が溢れ、参列者の琴線に触れるお話が次々と披露されて行きました。

特に生徒代表の言葉は心打つものがあり、記念式典の重要な締めくくりをキチンとやり遂げた素晴らしさに感動いたしましたし、こうした頼もしい後輩が弦中から育っていくことに感激をいたしました。

やはり50年という歴史とか伝統という累積時間のすごさ、目に見えない無形の何かがあって、その上に現関係者の熱意と努力が重なって、厳かさや温かさが醸し出されていることに感銘を受けました。

参列者の一人ひとりが胸の熱くなる思いを覚えられ

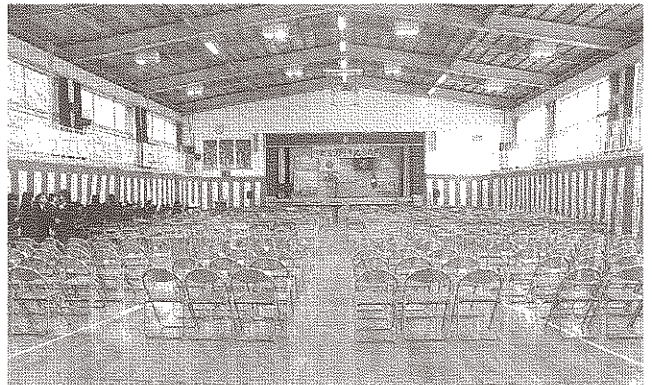
たと思いますし、出来れば一人でも多くの卒業生にこの場に居合わせて欲しかったと思ったのは、私一人ではなかったと思います。

記念式典の二部として、劉薇氏のヴァイオリン演奏と日本を代表する狂言師 野村万作氏の記念講演が行なわれ、式典は一層盛り上がりしました。

午後は弦和会主催の祝う会が催され、食事を伴いつつ弦中の歴史にかかわって来た方々を中心に歓談が行なわれ、世田谷区民吹奏楽団のアトラクションをはさみ、午後3時過ぎに終了しました。

また多くの時間とエネルギーをかけて纏め上げ、弦中50年の軌跡を綴った「記念誌」が配られて、アチコチでそれぞれの弦中時代を懐かしく回顧する姿が見られました。弦和会では生徒、父兄を中心に10年後の自分を書き付けたカードを入れたタイムカプセルを校庭に埋蔵、同窓会からは、今回の記念品に防災対応型のベンチを寄贈しました。

最後に、弦中の50周年記念行事の企画準備は平成15年から始められ、2年間にわたって活発な議論と周到な準備が行なわれてきましたが、この間、当時の齋藤孝司校長先生と川本正秀教頭先生の献身的な努力があって始めて式典の大成功が収められたこともご報告しておきたいと思います。



第5回同窓会のご報告

2004年6月12日(土) 15:00より五反田「ゆうぼうと」にて開催された“第5回総会”は、お陰さまで大盛況のうちに無事終了いたしました。ご都合悪く出席が適わなかった方も10人程いらっしゃいましたが、先生方も沢山出席して下さい、総勢116人が童心に帰った3時間を過ごしました。

会場の盛り上がりは……それは出席した人でないと計り知れない程、賑やかなものでした！ご馳走で

釣るわけではありませんが、美味しい食事に、楽しい会話は付きものだと、役員一同大きく実感した時間でした♪

ご出席の皆さん、お約束を覚えていますか？そして今回出席が出来なかった方、次回こそと思われている方もここで約束をしてください！それぞれ「もう1人」お友達を誘ってきてください！！

会計報告

平成16年4月1日～平成19年3月31日

収 入		支 出	
平成16年度			
繰越金	1,323,385	お祝い金	33,750
49期会費	223,500	通信費	403,685
会費	624,387	総会経費	606,845
ボロ市参加御礼	60,000	事務費	55,580
フリーマーケット出店料	237,000	模擬店・フリーマーケット経費	352,799
模擬店収入	464,994	同窓会誌印刷代	123,300
利息	62	会議費	9,475
		雑費	5,755
		次期繰越金	1,342,139
	2,933,328		2,933,328
平成17年度			
繰越金	1,342,139	お祝い金	33,410
50期会費	247,000	通信費	1,946
ボロ市参加御礼	65,000	事務費	56,533
フリーマーケット出店料	264,000	模擬店・フリーマーケット経費	332,782
模擬店収入	576,170	会議費	6,844
利息	67	雑費	2,520
		50周年経費	493,500
		次期繰越金	1,566,841
	2,494,376		2,494,376
平成18年度			
繰越金	1,566,841	お祝い金	30,000
51期会費	249,000	通信費	1,440
ボロ市参加御礼	85,000	事務費	7,750
フリーマーケット出店料	268,600	模擬店・フリーマーケット経費	243,735
模擬店収入	701,500	会議費	22,474
利息	90	次期繰越金	2,565,632
	2,871,031		2,871,031

年の瀬の雑踏を聞きながら

長谷部 俊

毎年恒例の弦中フェスタが終わると、息つく間もなく「うどん」の手配。そう、年末年始の「世田谷ボロ市」がやって来ます。

弦中で讃岐うどんの出店を引き受けてから十二年経ちましたが、前出店者の精神は受継がれて、売上金は全額、ボロ市保存会に入金され、地域の小中学校のマーチングバンド等の育英資金の一部として有効に使わせて頂いていることは、いわずもがなです。

また、本年は「ボロ市伝統430年」という事で代官行列が復活し、一部ではありますが、その活動を「うどん屋」も担っています。

うどんの担当者も10年を境に変わり、ついでに、味も少し変え、価格はギリギリでお願いして、メーカーに協力して頂いています。

味や価格もさる事ながら、諸先輩方々が培った事柄が、すっかり定着してきたのでしょうか、今年度は24,000食用意したものが、完売し、買えなかったお客様から、次回の予約を承ったり、お褒めの言葉を頂き、「幻のうどん」とも言われております。

弦中の校長、副校長を始め、教員、職員の方々が早朝6時の屋台の組み立て、うどん運び、夜8時過ぎの屋台の解体、撤収までお手伝いして下さい、PTAの団体である弦和会には1日4交代、延べ96名もの看板娘を動員して頂き、黄色いかけ声が慌ただしい年の瀬を色づけておりました。

弦中フェスタ同様、学校、弦和会、同窓会、生徒たち、地域の方々との五味一体のチームプレイの成果が見てとれます。この場を借りて御礼申し上げます。「ありがとうございました。今後よろしく。」

先にも触れましたが、今年で430年の伝統を持つ「世田谷ボロ市」無形文化財にも指定された「ボロ市」これらを記念して、この年末に代官行列が復活いたします。

見学がてら、うどん屋も覗いてみて下さい。そして地域の小さな力が少しずつ結集して、大きな力となっている事も見て下さい。代官屋敷のまん前、赤い看板とデッキの幟旗が目印です。なつかしい顔が、そこに居るかも知れません。ただ、あまり遅い時間に来店ですと売り切れていますよ。何たって、「幻のうどん」ですからね。お早目のお越しをお待ち申し上げます。



次期役員候補

会長	1期	新川 勝二	(留任)
副会長	1期	後藤 宣夫	(留任)
	7期	沼田 彰	(留任)
	10期	近田 優子	(留任)
会計	16期	小林 康弘	(留任)
	会計監査	1期	山内 馨
書記	19期	山田 裕一	(留任)
	11期	安土 仁	(留任)
代表幹事	12期	蛭川 澄夫	(留任)
	17期	本田 巖	(留任)
	18期	長谷部 俊	(留任)
	1期	長瀬瑛侃子	(留任)
	2期	小室 紀子	(留任)
	2期	横田 節子	(留任)
	2期	八橋 祥子	(留任)
	3期	安藤 政義	(留任)
	4期	天野 恵夫	(留任)
	5期	森 明子	(留任)
	6期	鈴木 武	(留任)
	7期	三田 博	(留任)
	8期	釜崎 信治	(留任)
	10期	高橋 将美	(留任)
	13期	松本 慎一	(留任)
	14期	古川 進一	(留任)
	17期	深瀬 信治	(留任)
	17期	岸 裕美子	(留任)
	18期	丸山 正高	(新)
	22期	平野 雄介	(留任)
	25期	小川 正浩	(留任)
	25期	峰行 光美	(留任)
	28期	小川 達夫	(留任)

特別会費を振り込まれた方 敬称略

ご協力ありがとうございました

藍原 一郎	安田 哲彦	竹内三枝子	吉田 宣枝	東久世通孝	白川 吉茂
西岡 明美	宮本 静代	大場 栄治	早野千鶴子	篠塚 芳明	木下 和也
山本 節子	相田津根子	仲井間敦子	斉藤 美玲	田代 吉登	木下 秀二
岡部 綾子	高市美佐子	小宮和真子	塚田 和彦	大澤 光治	長瀬 瑛
星野 隆光	青木 康之	今井 活三	大場 幸夫	鎌田 倫子	岡 爽
平澤 浩介	島田真知子	笠利 昭子	新井 正次	杉山 節子	大友 利公
弥 信道	桐生 久恵	原島 政男	安田 恵	大川 葉子	田中 庸子
金森 邦彦	藤森 春代	柴田 紀子	田中 栄一	菅野 雅明	八重田馴子
村田 裕	山梨 寿子	増田 君子	有田 靖子	榎本 英雄	土屋 健
志賀 郁代	尼寺 俊一	今原 正人	小泉 威	平野絵美子	伊藤 良子
山田 恵子	岸 知子	吉本 宏	大場 良一	平野 雄介	曾根 和子
矢野 裕久	大澤 豊子	中川 博明	大場 裕香	遠藤 正樹	玉谷 睦子
矢野 裕介	瀧本 尚美	堀口紀久雄	荒川 佳子	中原 利定	野田 聖子
雨宮紀美代	室樹 美子	堀口 丈夫	棟田 康幸	福川 京子	三田 悟
臺 梅嗣	三島 英夫	堀口 則彦	霜山 俊也	横田 節子	堀内 泰子
相川みち子	三島 謙二	大関 行弘	楠瀬 裕子	荒岡 令治	吉井みくに
嶋崎 政久	相澤 純一	村上 純朗	後藤 宣夫	金井 文和	山室 光樹
片野 真弓	山崎 信一	大橋 厚子	今野 建三	五十嵐セツ	牧田 正昭
中島 久恵	洞口 孝恵	二村 陽子	今野 幸子	蛭川 澄夫	瀬谷 啓二

特別会費納入にご協力を

当同窓会最大の悩みは活動資金の不足にありまして、毎年の卒業生に納めていただく会費だけでは、小子化の進む中で1万名を越す同窓生の会を支えていく事が困難な状況です。

弦中卒業生の絆を末長く維持するための同窓会活動にご理解いただき、今回も特別会費納入をあらためてお願いする次第です。

ご好意をお寄せ下さい。

お手数ですが所定の振込用紙を同封致しますので、宜しくお願いいたします。
会費：1口2,000円（何口でも結構です）

第10回フリーマーケット

(2006年10月22日)

—前夜夜中に雨がぱらつきドキッ—

- ・前年同様、ポスターやチラシでエリア開拓。その効果があり、確実に来客数、参加者数が伸びる。
- ・前日の準備、大幅に人が急きょ不足。校長先生の配慮で、講道学舎の頼もしいメンバーに助けをもらう。
- ・午後8時そろそろ準備終了と思ったら、お餅グループ食材の手配をしていない。スタッフ夜中に都内を走りまわる。
- ・当日前年の反省点の駐輪場対策をし、来場者自転車を迎え撃つ。
- ・朝マイクが不調のため、午前10時販売開始を待たずに殺到したお客様が凄いい勢いで買い物を始め、会場は一時異様な盛り上がり。
- ・ステージ前に観覧用椅子配置。学舎メンバーに助けをもらう。
- ・校長先生、副校長先生の宝塚コンビに助けられ、先生方の協力も頂き、ハードな1日を切り抜ける。ありがとうございました。
- ・午後4時と共に雨が降り出し、お客様の引きも早い。

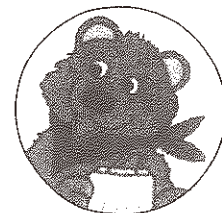
—毎年お天気にはドキドキします—

- 大きな問題もなく、無事入場者数、出店者数も最高で笑顔で終了。
- ・ステージには弦中ブラバン、弦小ブラバン、松が丘太鼓会、卒業生所属のビッグバンドライブに出店者、来場者大喜び。
- ・好評の揚げパン、数量を増やしみんな大喜びながら、同窓会の焼そばがその気迫に惨敗。



第6回同窓会のお知らせ

http://www.geocities.jp/tsuruchu_dousokai1991



《同窓生の皆様へ》

2007年！ 今年も皆様と会える日がやってきます

前回同窓会は設立13年・中学1年生

.....そして今年はめでたく16年・高校1年に！！

~★~~~~★~~~~★~~~~★~~~~★~~~~★~~~~★~~~~★~~~~★~~~~★~~~~★~~~~★~~~~★~~~~★~~~~

開催日時：6月30日(土曜) 14:00~17:00 受付開始 13:15より

会費：¥7,000

開催場所：品川プリンスホテル メインタワー24階 軽井沢
〒108-8611 東京都港区高輪4-10-30 TEL.(03) 3440-1111

内容：1部・・・同窓会活動報告・活動計画・役員改選
2部・・・懇親会 先生方・同期生・先輩・後輩と一緒に食事&歓談を
お楽しみください

~★~~~~★~~~~★~~~~★~~~~★~~~~★~~~~★~~~~★~~~~★~~~~★~~~~★~~~~★~~~~★~~~~★~~~~

★申し込み：同封の申し込み用紙にてお願いいたします
尚、会場準備の都合上、6月8日迄に申し込みをお願い致します

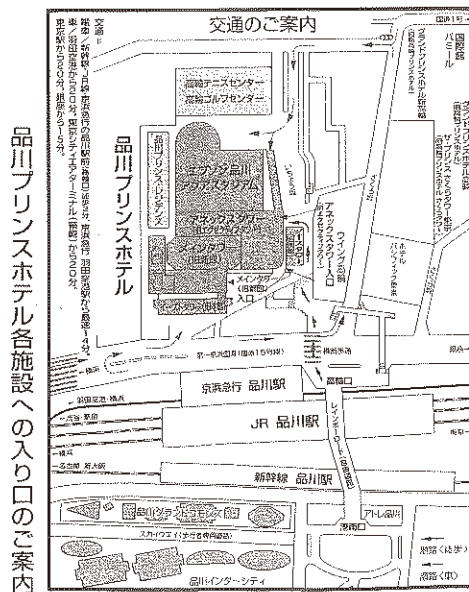
★問合せ先：沼田 彰 (7期 S38年卒)
近田 優子 (10期 S41年卒)
長谷部 俊 (18期 S49年卒)

★アクセス：品川駅高輪口へ

★宿泊：特別料金でご用意できます
約12,000円前後と思われます

★出席予定の先生(敬称略) 4月22日現在

三橋勝敏、福間徳雄、山口要人、永野剛夫、松原新一、
上野 洋、志賀平治、藤森喜子、山田道雄、山本章一、
白井 顕、斉藤柳子、宮川秀世、遊佐勝一、金井厚平、
川上昭南、柳田淳一、藤島照子



品川プリンスホテル各施設への入り口のご案内

世田谷区立弦巻中学校同窓会
「弦の子」No.5 2007年5月発行
〒154-0016 東京都世田谷区弦巻1-42-22
世田谷区立弦巻中学校内

発行人 新川 勝二
編集人 三田 博
編集 小林 康弘 蜷川 澄夫
印刷 (株)東京コンファス